



花みずき、入浴事情

グループホーム花みずき スタッフ 福井 美名子

前号（秋号）では「グループホーム花みずき」で入所者の皆さんがどのように1日を過ごされているのかを紹介しましたが、今回はその中で「入浴」について、もう少しお伝えしたいと思います。

だいたい15時頃からの入浴となりますので、1日3名程度、順番に入って頂いています。脱衣所や洗い場は少し広いですが、浴槽は一般的な家庭のサイズと同じです。利用者さんとスタッフが1対1（時にはスタッフ2～3人による介助もありますが）なので、入浴時間はコミュニケーションの場でもあり、会話が花が咲く事も。ほとんどの方はお風呂が大好きで、「気持ち良かった」「さっぱりした」と喜ばれ、どことなく表情も柔らかに。しかし、時には「入らへん」「昨日入った」「汗かいてないから汚れてない」などと入浴そのものを拒否したり、入浴中に大声で叫んだり、動き回りじっとしていなかったり。また、介助が必要なのですが、「あっち行って」「1人で出来る」とスタッフを遠ざける。延々と体を洗い続けるなど、その他にも様々な利用者さんがいらっしゃいます。その都度、スタッフはこうしたら…ああしたら…と話し合い、その方に合った介助を模索しています。

そこで、今まで入浴介助してきたなかで、このような利用者さんがおられたという事を数名記したいと思います。

まずは、入浴の拒否が多かったAさん。「お風呂、行きましょか」→「入らへん」、と9割以上の確率で返ってきます。しかし、何日も続けて声を掛けていくとすんなり「入るか」と返事が。でもまだまだ油断は出来ません。入浴前に必ずトイレに行くのですが、その後“お風呂に入る”…という事を忘れてしまうのです。また一から声掛けし、なんとか脱衣室へ誘導、入浴となるパターンでした。拒否はあってもお湯につかると気持ち良く長湯をされていましたが…。しかし、更に入浴しなくなったAさん、スタッフが何とか考え出した案は「大頭先生からのお手紙ですよ」と渡して読んでもらう事。「〇〇感染症にならない為、毎日お風呂に入って清潔にしてください」といった内容だったと思います。この案も最初は功を奏していたのですが、段々と効力を失っていきました。

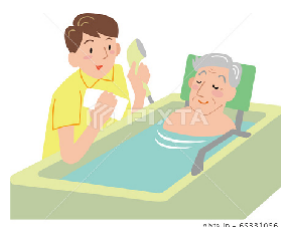
こんな風にスタッフは知恵を出しながら入浴を拒否する利用者さんに対応しています。

さて、次はTさんです。Tさんは「ハイハイ」と脱衣室へ行かれるのですが、椅子に座るとピタッと動きが止まり、おもむろに自ら脈をとるのです。30秒程の沈黙の後

、「あかん、脈が速いわ」と。「それでは私がみてみましょう」と脈をとりますが、速くもなく「Tさん、正常。元気!!」と言うと「あっそう」と笑顔。それからは鼻歌まじりにご機嫌で、お湯につかっておられました。その時必ず「私、年のわりには肌きれいやろ」と肌自慢。今、思えば一連の動作は気持ち良く入浴する為のTさんなりのルーティンだったんだなと思います。

そして最後に、ほっこりするお話。Fさん、Uさんのお二人はユニット内で大の仲良しさん。いつもニコニコ笑っておられ、会話はそれ程なくても通じ合う、寄り添っているという感じでした。そんなお二人なので、時々お互いにバシャバシャお湯をかけ合ったりし、とても微笑ましい光景でした。後にも先にもお二人で入浴されていたのは、FさんとUさんだけではなかったかな…。

その他にも書ききれない程、色々な利用者さんがおられましたし、これからも入所して来られるでしょう。グループホームではなるべくゆったりとした入浴時間を提供しています。安全に配慮しながら心身共にリラックスして頂けるよう、スタッフは頑張っています。



施設長より 花みずきで、一日の入浴人数が最大3～4名になってしまうのは、声掛けから始まって1時間ほどかかる方が多いからです。ただの入浴ではありません。傷の処置やアザの確認、髪の毛のみならず足の指の間を丁寧に乾燥…。また足ふきマットの交換や消毒等、感染症には細心の注意を払います。訪問看護の時に指導してもらったり、時間が足りずに午前中から入っていただくことも。ただの“入浴”ではないんです。

グループホーム“花みずき”での「ちょこっと話」

夕食後、トイレへ付き添った利用者さん（以下、利）

利「私、夕ご飯食べた？」

め「食べましたよ～」

しばらくして、同じ利「私、夕ご飯食べた？」

め「食べましたよ～」



とっても小柄な S さん（95 歳）。細身の O さん（91 歳）に

「もっと筋力つな、アカンで！」

それを見ていた A さん（92 歳）。

「ちょっと、おばあちゃんたちが何か言うとするで〜！」

☒「おばあちゃんたち、って...(^_^;)」



お誕生会。スタッフから、恒例の写真入り色紙をプレゼントすると...

利「こんなおばあさんのもん、要りませんっ！」

しばらくして、同じ利「これ（色紙）どうしよう？」

☒「お部屋に飾っておいたらどうですか？」

利「そんなもん、飾らんといて」

☒「え〜っ(>_<)」



♪ ♪ ♪

介助中、

☒「ここ、持っといってくれる？」

利「ここ、持っといて〜♪」

スタッフの言葉を全て歌にする O さん。

秋には、祭りの歌を自作自演。

☒「季節も合っているし、すごい！」

利「牛乳下さ〜い」

㊦「は〜い」

利「ミルク下さ〜い」

㊦「はいはい」

利「おちち下さ〜い」

㊦「えっ...」



利用者さんのパワフルかつユーモア溢れる面に触れる日々。私も現場で働いていた頃、「仕事なのに、こんなに面白くっていいのかなあ」と思っていました。介護の世界もなかなか奥深いですよ。 施